



小鹿野中学校だより第1号

令和6年4月8日

さ小 鹿



祝入学・祝進級

校長 新井 一也

満開の桜のもと、本日83名の新入生を迎えて小鹿野中学校の新しい一年がスタートしました。入学・進級おめでとうございます。生徒一人一人が志を新たに持って今年一年努力することを願っています。



さて、新2・3年生には始業式で「心を磨く」という話をしました。今年度、小鹿野中学校では昨年2学期から段階的に取り組んできた「無言膝つき清掃」に全校で取り組みます。「無言」という自分と向き合う時間の中で心を磨き、やる気や忍耐力などの非認知能力の向上をねらうものです。そして、新2・3年生には、無言膝つき清掃に誇りを持って取り組むという新たな校風を創り上げ、後輩に受け継いでいってくれることを期待しています。

また、入学式では新入生に向けて本校の校訓「『もと』をつくる」について話しました。この言葉は本校初代校長の石川延蔵先生が用いたものであること、「もと」とは人間としての心構え、態度であることを紹介しました。三年間の中学校生活の様々な場面で「もと」をつくって欲しいと思います。

今年度255名の生徒、42名の教職員とともに、小鹿野中学校の歴史と伝統を受け継ぎ、生徒の実態に合わせた教育活動を展開して参ります。引き続き保護者、地域の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度学校経営方針

[校訓] もとをつくる

[学校教育目標] 誇り高く 志高く たくましく

[目指す学校像] 明るく楽しい地域に誇れる学校

[目指す生徒像] 郷土小鹿野に誇りを抱き、

確かな「人間力」を身に付けた生徒

[目指す教師像] 生徒・保護者・地域から信頼される教師